

# 令和8年度 事業計画

## 1. 令和8年度 事業計画の骨子

目標	実施計画および具体的内容	成果指標
<p>1. 組織体制を強化し、組織内および各関連機関と連携のとれた組織となる。</p>	<p>1) 定期的に総会・運営会議・理事会・各地区定例会・各部会・各委員会を開催し、組織的に取り組む。</p> <p>2) 会員相互の連絡・報告が円滑に行われる組織を目指す。</p> <p>3) 専門部会間の連携を強化する。</p> <p>4) 時代の情勢に応じた組織の安全管理体制を整備する。</p> <p>5) 定款・細則・規程を見直し、組織運営を効果的なものにする。</p> <p>6) 日本助産師会と連携して組織運営を行う。</p> <p>7) 各自治体および関連団体と連携する。</p>	<p>1) 総会：令和8年4月27日（日）対面開催 運営会議：6回、理事会：8回 地区定例会・部会・委員会を定期的に開催する。 事業計画に則り事業の推進・調整・支援を行う。</p> <p>2) 大潮を年3回発行する。 ホームページやメールリストを用いて、随時会員に情報を発信する。</p> <p>3) 3部会集会や交流会等で部会間の情報共有を強化し連携を図る。 地域と施設で働く会員が情報共有し、連携につながる機会を作る。</p> <p>4) 組織の盤石な安全管理体制の構築に向けて、3部会と安全対策委員会が協働して役割を担い、安全対策およびリスク管理体制の整備を図る。</p> <p>5) 定款及び細則を見直し、必要時改定を行う。 委員会等の規程を整備する。</p> <p>6) 日本助産師会総会に代議員を派遣する。 日本助産師会・南関東地区および南北関東地区の代表者会議に参加して協議し、組織運営に反映させる。</p> <p>7) 千葉県と情報共有をして、協力や要望を行う。 各地区を通して、市町村の事業に協力する。 看護協会や医師会等の関連団体と連携する。 災害支援において、県、自治体および関連団体と連携する。</p>
<p>2. 地域で活動する助産師に対し、安全対策への組織的な取り組みを行う。</p>	<p>1) 助産所の質の維持を図る。</p> <p>2) 事故事例等の報告書を作成し、その組織的な運用を通して母子の安全に努める。</p> <p>3) 母乳育児支援、産後ケアにおける母子の安全に努める。</p> <p>4) 保健指導開業助産所（来所型）BCP 策定を推進する。</p> <p>5) 安全のための講習会の受講を推進する。</p> <p>6) 日本助産師会賠償責任保険への加入を推進する。</p> <p>7) 地域の協力機関との連携を図る。</p>	<p>1) 助産所の安全管理評価を実施する。</p> <p>2) 全助産所部会員の IT 利用により転院・搬送報告等を速やかに行い、分娩統計に努める。 ヒヤリハット、インシデントの適正な報告を支援し、事例を共有して改善策を検討する。また、グッドジョブ報告を積極的に収集する。</p> <p>3) 安全な母乳育児支援、産後ケアのための情報を共有する。</p> <p>4) 保健指導開業助産所（来所型）BCP の作成に取り組む。</p> <p>5) 安全管理研修を年2回開催する。</p> <p>6) 助産所・保健指導・勤務助産師それぞれに賠償責任保険への加入を推奨する。特に産後ケア受託に必要な賠償責任保険への加入を周知する。</p> <p>7) 産婦人科医会との研修会を企画する。 地域の産婦人科医と情報交換を行う。</p>

<p>3. 助産および母子保健事業を実施する。</p>	<p>1) 電話無料相談（ミッドライフ千葉）を継続する。  2) 電話相談における地域との連携を深める  3) 「国際助産師の日」のつどいを検討する。  4) 地域と施設の連携の推進を図り、安定した継続母子保健活動を行う。  5) 産後ケアの質の向上を図る。</p> <p>6) 千葉県及び市町村と連携して母子保健事業を推進する。</p>	<p>1) 相談事業運営を見直し、安定した運営を行う。電話相談員を確保し、電話相談を継続する。  2) 電話相談から紹介する相談窓口として、助産所や他機関との連携を図る。  3) 「国際助産師の日」のつどいの開催について、各地区の意見を集約して検討し、持続可能な企画運営を実現する。  4) 地区活動等に勤務助産師が参加できる機会をつくり、連携をとりながら母子保健活動を行う。各地区と関連施設が情報交換を行い、連携する。  5) 産後ケア実務助産師研修修了者の増加および充足を図り、自治体と協力して産後ケア事業を拡充する。  地域と医療機関の連携に向けて、産後ケア等の情報交換の機会をつくる。  6) 地域で自治体の事業に積極的に協力・参加できるように、情報共有しながら取り組む。市町村の産後ケア事業の受託を推進する。寄り添い型支援等の要請に応じて協力する。</p>
<p>4. 助産師のキャリア・アップを支援する。</p>	<p>1) 助産師の継続教育として必要かつ効果的な研修会を開催する。  2) CloCMiP®ラダーⅢの認証および更新を推進する。  3) 各種表彰を推進する。</p>	<p>1) 教育体系に沿って教育計画を立案・実施する。受講者のニーズを満たす研修会内容や研修方法を工夫する  2) ラダーⅢの認証および更新に必要な情報を収集し、会員に周知する。ラダーⅢ対応の研修会を開催する。  3) 各種表彰に既定数の候補者を選出して表彰につなげる。会を通して表彰の候補者を推薦する。</p>
<p>5. 講師を育成し、健康教育を実施する。</p>	<p>1) 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める。  2) 「生と性の健康教育」の方略を検討する。  3) 新規の活動として、思春期相談事業（千葉県委託事業）への参画を検討する。</p>	<p>1) 研修・交流会を開催し、講師の育成に努める。ニュースレターの活用を推進する。  2) 県内の中学校・高等学校での「生と性に関する健康教育」の拡充を目指し、実績をもとに県に働きかける。講師謝金の一律化に向けて、依頼先や自治体への周知を図る。講師依頼とその対応が円滑に進むよう、ホームページの掲載情報を検討する。  3) 助産師が行う包括的性教育の一つの取り組みとして、委託事業への参画を検討する。受託に必要な相談体制の整備を検討する。研修会を企画し、思春期相談に対応できる人材育成に取り組む。</p>
<p>6. 災害対策への取り組みを強化する。</p>	<p>1) 災害発生時に対応できる組織を整備する。  2) 日本助産師会や他県の助産師会との連携を強化する。  3) 千葉県や各市町村との連携を強化する。</p>	<p>1) 災害時の連絡網を整備し、情報共有を図る。災害時支援のシミュレーションを実施し、会員への周知を図る。災害時支援協力員・協力助産院を確保する。災害時支援マニュアルの熟読を推進する。  2) 日本助産師会や他機関の研修会に参加する。近隣助産師会の災害時支援の連携について検討する。  3) 地域の防災訓練に参加し、災害時の母子支援に関する本会の活動を周知する。</p>

		<p>県および各市町村との災害支援協定の締結を推進し、協力体制を整備する。</p> <p>千葉県小児周産期リエゾン研修会に参加し、リエゾンの一員として役割を果たす。</p>
<p>7. 会員増加と会員同士の交流を図る。</p>	<p>1) 会員の定着により助産師会活動の活性化を図る。</p> <p>2) 会員同士の交流を図る。</p>	<p>1) 会員の定着を目指す。「目標 390 名」非会員および助産学生の研修参加を促し、入会の機会とする。</p> <p>地域での健康教育等の協力を募り、非会員に助産師会の活動を知ってもらう。</p> <p>事業活動で助産学生の学修の場となる機会をつくり、助産師会の活動を知ってもらう。</p> <p>2) 年 1 回、菜の花会を開催する。</p> <p>世代や部会を超えた会員同士の交流の場として、菜の花会の開催方法を検討する。</p> <p>R8 年度開催予定 (9 月 26 日) の創立 100 周年記念式典への参加を促し、会員同士の交流を深める場とする。</p>
<p>8. 千葉県助産師会の事務所の管理・運営の安定化を図る。</p>	<p>1) 事務所の管理・運営方法を見直す。</p> <p>2) 事務員の雇用の安定化を図る。</p>	<p>1) 事務所の管理・運営方法を適宜確認する。</p> <p>事務所内の書類・物品の整備を行う。</p> <p>事務所移転について検討する。</p> <p>2) 事務員が働きやすい環境を整備する。</p>

## 2. 地区部会活動計画

## 令和8年度 第1地区部会 活動計画

地区部会名：柏・野田・我孫子・流山・松戸	地区部会長：小林由美子
----------------------	-------------

定例会開催予定：8回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上を図る	1) 定例会の開催 2) 研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインと対面の両方を活用し、より多くの会員とのつながりを保つ</li> <li>・最新情報の伝達、研修会報告や情報交換を行い、個人活動の充実を図る</li> <li>・地区会員の興味をもてる内容での研修会を開催する</li> </ul>
2. 地域に密着した、助産師ができる保健活動を行う。	1) 子育て・女性の健康支援 2) 我孫子市ウェルカムベビー学級の運営 3) スタジオアリスマタニティーセミナー 4) 産後ケア 5) 多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て・健康イベント参加</li> <li>・母子保健関連会議への参加</li> <li>・子育て・女性支援団体への協力</li> <li>・円滑な運営のための我孫子市との連絡、調整、情報交換</li> <li>・担当者との調整、セミナー実施、新規担当者の募集及び見学対応</li> <li>・委託された市との連絡・調整、会議を通してよりよいケアを提供する</li> <li>・他職種への研修講師の依頼や個人の活動でも積極的に連携を図る</li> </ul>
3. 県助産師会事業	1) 「助産師無料電話相談」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当地区として事業の運営・調整・集計等の役割を担う</li> </ul>
4. 健康教育活動の充実	1) 性の健康教育事業 2) 性の健康教育講師の育成 新人の育成と既存講師のブラッシュアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼先への講師派遣、連絡調整</li> <li>・実施後の報告、統計</li> <li>・教材管理 ・意見交換会の開催</li> <li>・研修会への参加</li> <li>・健康教育意見交換会への参加</li> <li>・講座の見学の実施</li> </ul>
5. 災害に備え、母子の災害時支援をする	1) 協定市（柏市・松戸市）との連携を継続と流山市との協定締結への打診 2) 防災訓練への参加 3) 災害時母子支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時マニュアルを随時確認する</li> <li>・災害対策についての研修会に出る</li> <li>・自治体防災会議への出席し、迅速な災害対応を整備するとともに、母子の専門家であることの周知を図る</li> <li>・新たな自治体からの災害協定要望に対し、締結へむけて調整を進める</li> <li>・災害時は母子支援に携わる。</li> </ul>

## 令和8年度 第2地区部会 活動計画

地区部会名：市川・浦安地区	地区部会長：塩見良子
---------------	------------

定例会開催予定：6回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の結束を図り、知識技術の向上を目指す。	1) 定例会開催 2) 研修会開催 3) 地区会員の地区会や地区活動の見学や参加への働きかけ 4) 会員の増員を図る	1) 2か月毎の定例会開催(ZOOM 併用) 2) 研修会や症例検討を行う。 3) 地区会員の把握、地区会や地区活動へ参加しやすいようサポートする。 4) 研修会への参加を呼びかけ、地区活動に参加してもらいやすいように働きかける。
2. 地域・所属を超えたネットワークの構築	1) 社会福祉協議会との連携 ・研修会講師としての参加 2) 他職種との交流連携を深める ・STD 対策推進協議会 ・母子保健推進協議会 等	1) ファミリーサポートセンター基礎研修講師として参加。 2) 子育て支援関連・健康教育・防災関連等との交流を深める機会を作る。
3. 地域に密着した母子保健活動を積極的に行う	1) 地域の子育て支援事業への協力 2) 行政の母子保健事業への協力 ・浦安市健康増進課 ・市川市産後ケア事業等 3) 健康教育・講演会への講師派遣 ・健康教育 ・子育て支援講座	1) 2) 子育て支援等に参加し、子育ての悩みに寄り添い相談にのり、自立した子育てができるように支援する。地域との連携を密にし、協働して母子支援を模索していく。 3) 健康教育の質と向上のため、シミュレーションを行いながら評価・実施していく。講師ができる人材を育成する。研修会に参加し、スキルアップに努める。
4. 本部・千葉県助産師会事業への参加・協力	1) 「助産師無料電話相談」に協力 2) 研修会の参加・協力 3) 100周年記念事業イベント担当	1) 電話相談員として協力 2) 部会を超えた研修会に参加協力 3) イベント担当として、記念事業を盛り上げる
5. 災害に備える	1) 浦安市との災害協定継続 2) 災害時迅速な対応ができる準備 3) 他職種との防災連携	1) 浦安市と話し合い、事業に参加協力 2) 連絡網の見直しと安否確認のための方法を検討する 3) 母子目線の防災連携を検討する

## 令和8年度 第3地区部会 活動計画

地区部会名：船橋地区	地区部会長：伊藤志保
------------	------------

定例会開催予定：5回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上をめざす。	1) 定例会の開催 (1) 理事会報告等の連絡 (2) 研修会の開催  2) 地区だよりの発行、配布 3) 地区会員増加への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有と意見交換を心がけ、親睦を深めると共に、既存の知識のアップデートに繋げる。</li> <li>・伝達研修を含め、会員のニーズに添った研修会の開催をめざす。</li> <li>・年1回地区だよりを発行する。</li> <li>・非会員へ地区活動紹介を発信し、入会を促していく。</li> </ul>
2. 地域に根ざした母子保健活動を行う。	1) 行政の母子保健事業に協力  2) 健康教育・講演会に講師を派遣し、地域の子育て支援に協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年同様、各事業に協力する。 妊産婦・新生児訪問、4か月児健康相談 1歳6か月児健診、3歳児健診、パパママ教室、産前産後サポート事業、不妊不生育専門相談、養育支援訪問、産婦健診、産後ケア</li> <li>・担当者と連絡を取り、意見交換をしながら、よりよい母子支援を目指す。</li> <li>・母子保健関連会議への参加</li> <li>・依頼先へ講師派遣・連絡調整</li> <li>・地域の子育て支援事業や健康まつりに参加協力する。</li> <li>・講師の育成に努める。</li> </ul>
3. 災害に備え、体制を整える。	1) 災害時に落ち着いて行動できる体制作り  2) 災害時、行政と連携し母子支援活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策委員会が行う訓練に参加する。</li> <li>・災害協定やマニュアルを見直す。</li> <li>・防災に関する情報交換を行い、日頃から連絡を取りあえる体制をめざす。</li> <li>・市と定期的に話し合いをし、災害時の母子支援の内容や動きについて、地区内で情報共有をする。</li> </ul>
4. 千葉県助産師会が行う事業への参加協力をを行う。	1) 「助産師の電話無料相談」に協力 2) 研修会への参加 3) イベントや事業への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話相談員として協力する。</li> <li>・研修会への参加を呼びかける。</li> <li>・100周年記念行事に協力する。</li> <li>・国際助産師の日のイベント内容を検討し、準備をしていく。</li> <li>・他地区の産後ケア事業に協力する。</li> </ul>

## 令和8年度 第4地区部会 活動計画

地区部会名：習志野・八千代・鎌ヶ谷	地区部会長：金子みゆき
-------------------	-------------

定例会開催予定：8回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の交流を図り、お互いの知識や技術の向上に努める	1) 定例会の開催 2) 地区研修会の開催 3) 地区会員の地区活動への参加者増員 4) 地域周産期センターや地域施設と交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年8回定例会（オンライン・対面2回）</li> <li>・伝達研修を含め会員の興味のある研修会の開催</li> <li>・地区活動紹介を発信していく</li> <li>・交流会、意見交換会を設ける。</li> <li>・地域医療センター産科職員や地域会員との交流会</li> </ul>
2. 地域に密着した母子保健活動・健康支援活動を行う	1) 子育て支援 2) 行政の事業 (1) プレママ教室 (2) 産後ケア事業  (3) 母子保健会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員各自の業務の充実</li> <li>・育児講座に講師の派遣を行う</li> <li>・八千代市ハローベビー教室に協力</li> <li>・習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市訪問型産後ケアに協力</li> <li>・習志野保健所母子保健推進協議会参加</li> </ul>
3. 健康教育活動の充実	1) 生と性の健康講座  2) 生と性の健康講座の講師育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師派遣、連絡調整。</li> <li>・適宜会議し講座内容の検討をする</li> <li>・研修会で研鑽し講師の質の向上を図る</li> <li>・教材及び資料の整備</li> <li>・地区内研修会開催</li> <li>・講座の見学、実際の講座にてサポートから参加していく</li> </ul>
4. 災害に備え体制を整える	1) 災害時速やかに行動できるための準備  2) 災害時、行政と連携し母子支援活動協力ができる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃より安否確認を行い問題点等改善していく</li> <li>・連絡網の整備</li> <li>・災害時、協定に基づき行動できるよう、協力員の確保等、地区部会内の整備を行う</li> <li>・習志野市防災会議参加</li> <li>・習志野市防災訓練に協力</li> </ul>
5. 千葉県助産師会の事業への参加	1) 助産師による電話無料相談協力  2) スタジオアリス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区会員が電話無料相談協力員として相談業務に参加する。</li> <li>・講師担当者決める</li> <li>・見学希望者受け入れ</li> </ul>

## 令和8年度 第5地区部会 活動計画

地区部会名：印旛地区	地区部会長：根本由起子
------------	-------------

定例会開催予定：4回

目標	事業	活動内容
1. 会員の交流を図り知識・技術の向上に努める	1) 役員会・定例会の開催 2) 研修会を開催 3) 会員の満足度を高める 4) 会員の増加に努める	1) 対面で会を行い、コミュニケーションを大切にする 2) 会員のニーズに沿った研修会を企画開催 3) 非会員の助産師への声掛けや、研修会の案内等を行う
2. 地域に密着した保健指導を行う	1) 行政の母子保健事業への協力 2) 健康教育・思春期講話の充実を図る	1) 行政との連携 (1) 母親学級・パパママクラス等 (2) 新生児訪問、 こんにちは赤ちゃん事業等 (3) 産後ケア事業 (4) 成田市健康福祉まつり 2) 生と性の健康教育 (1) 講演会への講師派遣 (2) 講師の自己研鑽 (3) 講師の育成、増員 (4) 謝金についての交渉
3. 災害に備える	1) 災害時に速やかに行動がとれるための準備 2) 協定市との連携を図る 3) 協定市の災害訓練への参加	1) マニュアルの見直しや整備 2) 協定市と連携をとる 3) 佐倉市・成田市・八街市・印西市・白井市・四街道市の災害訓練へ参加
4. 千葉県助産師会の事業への参加・協力	1) 県研修会・イベントへの参加	1) 「助産師の電話無料相談」への協力 (1) フライヤーの配布 (2) 電話相談員として協力・増員への声掛け (3) 研修への参加・呼びかけ 2) 総会への参加及び協力 3) スタジオアリスマタニティーセミナーへの協力 4) 100周年記念事業への協力

## 令和8年度 第6・8地区部会 活動計画

地区部会名：香取・海匝・山武・長生・夷隅地区	地区部会長：白倉美智子
------------------------	-------------

定例会開催予定：年4回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の交流を図り知識や技術の向上に努める	1) 定例会の開催 2) 地区研修会の開催 3) 会員の地区会参加への働きかけ 4) 地区会員増員への働きかけ 5) 健康教育の講師育成	1) 地区が広範囲に渡るため昨年同様、対面とZoomを半々で開催する。 2) 研修会は定例会に合わせて開催する。テーマは会員のニーズを基に決定し、伝達講習、実践報告、意見交換を行う。地区内外で行われる研修会の参加 3) 定例会などの予告・報告は都度メール・その他の方法で周知する 4) 地区研修会等への声かけ 5) 健康教育に関する研修受講や講演見学、意見交換等により講師の増員を図る
2. 地域に密着した母子保健活動を行い地域との連携に努める	1) 行政母子保健事業への協力 2) 城西国際大学祭の参加（許可のあった場合） 3) 健康教育・講演会への講師派遣	1) 両親学級・新生児訪問・産後ケア事業などへの協力、母子保健関係会議や研修会への参加 2) 城西国際大学看護助産学科教員と意見交換し、PRを含めた企画と実施 3) 講師依頼に対し調整する
3. 県助産師会事業への参加・協力をを行う	1) 電話相談事業に協力 2) スタジオアリス・マタニティセミナー協力 3) 国際助産師の日イベントへの協力 4) 100周年記念事業への協力	1) 電話相談員として協力、地域へのPRを行う 2) マタニティセミナー担当者との意見交換、セミナー実施、希望者を募る 3) 担当地区の指示のもと協力 4) 委員会からの指示を受け協力・参加する
4. 災害対策を整える	1) 災害時の対応について検討 2) 災害訓練への参加	1) (1) 災害時支援マニュアルを基に地域の特性にあった対策を話し合う (2) 地域の防災対策に対する情報収集と行政との連携を検討する (3) 災害協定を結んだ市町に挨拶を兼ねて協定内容に変更がないか確認 2) 災害訓練参加の準備と実施後の評価を行い次に活かす ・地区用の防災リュックを準備し活用する

## 令和8年度 第7地区部会 活動計画

地区部会名：千葉地区	地区理事：菅谷厚子
------------	-----------

定例会開催予定：12回

目標	事業	活動内容
1. 母子保健知識の普及・生命の大切さの普及・女性の健康支援を行う	1) 土日両親学級 (千葉市委託事業) 2) 不妊専門相談〔電話相談〕 (千葉市委託事業) 3) 「いのちの講座」開催  4) 妊娠期準備クラス  5) 千葉市母子保健事業  6) 関連施設との連携  7) 千葉市のイベント参加 8) 千葉県助産師会事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24回開催予定(第1回:12回 第2回:9回) 定員は1回20組40名とする。講話形式</li> <li>・「不妊・不育いのちの温♡line」を週1回3名で担当する。</li> <li>・親子で学ぶ講座Ⅰ、親子で学ぶ講座Ⅱ 大人が学ぶ講座を開催する。</li> <li>・赤ちゃんのお世話練習大会を開催する。</li> <li>・温♡line 講座“親になるクラス”配信</li> <li>・各事業の講師、相談員を推薦する。                母親&amp;父親学級、母乳教室、女性の健康相談、不妊専門相談〔面談〕、思春期保健事業、千葉市産後ケア事業(委託助産院)</li> <li>・産科1施設と連携し産褥訪問を行う。</li> <li>・精神科1施設と連携し、産前産後の継続支援を行う。カンファレンスを開催する。</li> <li>・千葉市のイベントへ参加、協力する。</li> <li>・電話無料相談協力員、スタジオアリス・マタニティセミナー講師、100周年記念事業への協力を行う。</li> </ul>
2. 助産師の知識・技術を高める	1) 研修会の開催  2) 事例検討会・学習会の開催  3) 学生実習協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市母子保健事業業務委託による研修会を3回開催する。</li> <li>・定例会を活用し、事例検討会や事例報告会、ミニ学習会などを行う。</li> <li>・東京情報大学看護学部学生実習の協力</li> <li>・他大学の依頼により協力する。</li> </ul>
3. 組織を強化し、運営を円滑に行う	1) 運営に関する会議  2) 関連機関との連携  3) 災害対策  4) 会員の増加を目指す 5) 助産師活動の広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回総会、毎月定例会、適宜理事会を開催する。委員会活動の充実を図る。</li> <li>・総会資料、議事録を会員へ配布する。</li> <li>・健康支援課へ要望書を提出する。</li> <li>・行政関連の委員を受諾し、会議に出席する。</li> <li>・千葉市と連携し、災害時の災害時の対応について話し合いをする。</li> <li>・ホームページ、Instagram、リーフレットを活用し、広報及び情報提供を行う。</li> </ul>

## 令和8年度 第9地区部会 活動計画

地区部会名：市原・君津・安房地区	地区部会長：小柴 和子
------------------	-------------

定例会開催予定：5回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の交流を図り、母子保健活動・健康支援活動を行う。	1) 定例会の開催 2) 地域母子保健事業への協力 3) 千葉県助産師会事業 4) 地区のイベント参加	1) 定例会の開催 (1) 情報共有・意見交換 (2) 出席率を上げる (3) 定例会運営の在り方を検討し、充実を図る 2) 新生児訪問・子育て関連事業 産後ケア・連絡会議・研修会の参加 3) 電話無料相談員・スタジオアリス セミナー・9都市防災訓練参加 思春期健康教育事業講師 100周年記念事業への協力 4) 総合防災訓練に参加
2. 会員の知識・技術の向上に努める。	1) 研修会の開催 2) 事例検討会・学習会	1) 昨年に引き続き母乳の研修会を開催する 2) 定例会を活用して事例検討会や事例報告会・学習会を行う。
3. 組織の強化と運営の円滑化を図る。	1) 運営に関する会議 2) 他機関との連携 3) 災害対策	1) 年1回総会・2ヶ月に1回定例会を行う。 2) 連携の円滑化を目指す。 3) 災害時の備え、体制や行動の確認を行う (1) シミュレーションの参加 (2) 防災訓練の参加等行政との連携の充実 (3) 災害時の母子支援の展開

### 3. 専門部会活動計画

- 1) 助産所部会
- 2) 保健指導部会
- 3) 勤務助産師部会

## 1) 令和8年度 助産所部会 活動計画

### 【年間目標】

1. 助産所ガイドラインを遵守した安全な助産所運営と質の向上に取り組む。
2. ヒヤリハット、インシデント・アクシデント報告を促し、安全な助産所運営と質の向上に取り組む。
3. 助産所の存在と自然分娩の周知を目指す。
4. 助産所の開業を目指す助産師の研修を開催し、助産所部会員の増加を目指す。

### 【定例会開催予定】

年6回偶数月 第4水曜日 13:30~15:30

(Zoom 会議 5回・対面会議 1回)

### 活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 助産所ガイドラインを遵守した安全な助産所運営と質の向上に取り組む。	1) 分娩を扱う助産所の評価訪問は安全対策委委員 1 名を含む 2 名以上で行う。 2) 安全管理評価表を年度末に報告する。
2. ヒヤリハット、インシデント・アクシデント報告を促し、安全な助産所運営と質の向上に取り組む。	1) 定例会にて、グッジョブ、ヒヤリハット、インシデント・アクシデント報告を共有し安全検討を行う。 2) 安全対策委員会と協力し、インシデント・アクシデント報告を集計する。 3) 分娩件数を年度末に報告する。
3. 助産所の存在と自然分娩の周知を目指す。	1) 対面での研修会を企画する。 2) 「愛されるために生まれてきた」上映会&シェア会 3) その他
4. 助産所の開業を目指す助産師の研修を開催し、助産所部会員の増加を目指す。	同上

## 2) 令和8年度 保健指導部会 活動計画

### 【年間目標】

1. 地域における助産師の活動をより推進していく
2. 多様な家族に対応した、安全で質の高い産後ケアを提供する。

### 【定例会開催予定】

毎月1回の定例会開催

### 活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 地域における助産師の活動をより推進していく	1) 地域で助産師の存在を広く知ってもらうための活動 (1) 千葉県・市町村・医師会・看護協会・保健センター・子ども家庭支援センター等への積極的な広報活動 (2) 地域イベント等に積極的に参加し、助産師の存在をアピールする。  2) 助産院の集客力を上げ、円滑な経営をするための活動 (1) 円滑な経営をするための研修会の開催 (2) 会員間の情報交換
2. 多様な家族に対応した、安全で質の高い産後ケアを提供する	1) 多様なニーズに対応できる質の高い産後ケアを提供する (1) 産後ケアに活用できる研修会の開催 (2) 会員同士の情報交換 2) 産後ケアに関する安全管理を徹底する。 (1) 産前産後ケアガイドラインに沿った支援をする。 (2) 安全に関する意識を高める啓発

### 3) 令和8年度 勤務助産師部会 活動計画

#### 【年間目標】

1. 日々の実践に役立つ研修会を開催する。
2. 勤務助産師同士がつながるために、勤務助産師のニーズの把握や助産師同士の交流を図る。

#### 【定例会開催予定】

メールやオンラインでの会議を年4回実施する。

#### 活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 日々の実践に役立つ研修会の開催	1) 会員のニーズ結果に基づき、より多くの会員が参加できる研修会を開催する。
2. 勤務助産師同士がつながるために、勤務助産師のニーズの把握や助産師同士の交流を図る。	1) 研修会と併用し、希望者のみ参加する交流会の実施

## 4. 委員会活動計画

- 1) 教育委員会
- 2) 子育て委員会
- 3) 安全対策委員会
- 4) 災害対策委員会
- 5) 広報委員会
- 6) 将来構想検討委員会
- 7) 細則検討委員会
- 8) 生と性の健康教育委員会
- 9) 100周年記念事業委員会

## 1) 令和8年度 教育委員会 活動計画

### 【年間目標】

1. 助産師の継続教育として必要な研修会を開催する
2. 社会状況に対応した必要な研修会の年間計画を立案・実施する
3. 対面や遠隔による効果的な委員会活動を実施する

### 【定例会開催予定】

随時 (ZOOM、LINE、mail)

### 活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 助産師の継続教育として必要な研修会を開催する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 体系化した教育計画を立案する</li> <li>2) 受講者のニーズを満たす研修会内容や研修方法を工夫する</li> <li>3) 実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する</li> </ol>
2. 社会状況に対応した必要な研修会の年間計画を立案・実施する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 他部会及び委員会と連携した体系的な教育計画を実施する</li> <li>2) 社会状況を踏まえ、立案した教育計画を速やかに修正し運営する</li> <li>3) 実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する</li> </ol>
3. 対面や遠隔による効果的な委員会活動を実施する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 委員会メンバーの役割分担を整備し実施する</li> <li>2) 必要時、ZOOM, LINE, mail を使用し委員会メンバー間で情報共有する</li> </ol>

令和8年度 千葉県助産師会教育計画

研修会名 (募集人員)	研修内容	講師	開催 日時	開催方法
【教育委員会】 地区報告会	各地区の実践報告	5. 6. 7. 9 地区	7月	大潮 送付時に 同封
【勤務助産師部会】 EPDSを正しく読む・つなぐ 産後メンタルヘルス支援の 基礎」 ( 40名 )	・エジンバラの読み解き ・日本と諸外国との違い ・産後メンタル支援への 生かし方	東京大学大学院 医学系研究科 精神保健学分野 西田 梨乃先生	6月28日 (日)	ZOOM オンデマンド 配信
【教育委員会】 NCPR Sコース ( 8名 )	NCPRスキルアップ講習	成田赤十字病院 岡崎 恵利先生	6月28日 (日)	対面
【教育委員会】 J-CMERLS研修会 ( 12名 )	J-CMERLS研修会	レディースホーム やわた 院長 計良 和範先生	6月頃	対面
【生と性の健康教育委員会】 交流会 ( 30名 )	「いのちと性に関するお 気に入りの一冊を持ち寄 って～講師をやっている ひともこれからの人も、 みんな集まれ！！～ PART 2」		7月5日 (日)	対面
【保健指導部会】 (仮) 地域で助産師の存在 を広く知ってもらうための 戦略集会 ( 未定 )	・妊産婦の多様なニーズ に対応するための戦略 ・助産院の集客力を上 げ、円滑な経営のための 戦略	未定	7月頃	対面 または ZOOM
【教育委員会】 事例検討研修会 ( 50名 )	母子関係支援 —ジブリ作品を通して—	ちば心理教育研究所 所長 光元 和憲先生	11月22日 (日)	対面
【保健指導部会交流会】 交流会 ( 未定 )	会員同士の対面での情報 交流会 (テーマ未定)	未定	12月頃	対面

参加費:研修会により異なります。HP 等で研修会案内をご確認下さい。

## 2) 今年8年度 子育て委員会 活動計画

### 【年間目標】

1. 電話相談事業を円滑に運営、継続するためのシステムの構築
2. 相談員が継続して協力していけるためのメンタルヘルスに努める

### 【定例会開催予定】

必要時に適宜開催とする

### 活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 電話相談事業を円滑に運営、継続するためのシステムの構築	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 持続可能な安定した電話相談事業運営               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 柔軟で安定した運営システムの確立：グループLINEにて次回相談員へのリマインド等の継続</li> <li>(2) グループLINE内での相談員の情報共有</li> <li>(3) 相談員交替などにもグループLINEを活用</li> </ol> </li> <li>2) 継続していけるような安定した相談員の確保               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 会員全体への相談員登録の呼びかけ</li> <li>(2) 研修会・交流会を通し、会員が電話相談事業へ関心を向け、社会的にも重要な役割であるという意識が持てるように図</li> </ol> </li> <li>3) 事業継続にあたっての考察               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 電話無料相談を知ったきっかけから事業認知の有効性を検討。各自治体との協力・連携を図る</li> </ol> </li> </ol>
2. 相談員が継続して協力していけるためのメンタルヘルスに努める	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 相談員が積極的に協力できる環境を整える               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 交流会を通し、各々が抱える不安や対応スキルの情報交換をしていくことで個々のスキルアップと不安解消に努める</li> <li>(2) 対応に苦慮した事例、気がかりが残る事例などについて情報を共有し、グループLINEなどでのプライバシーに配慮した情報提供、相談、子育て委員などへの連絡を通してフォローに努める</li> <li>(3) 電話相談での限界を理解し、電話相談では解決できない場合は他機関との連携を図り、支援を行う</li> </ol> </li> </ol>

### 3) 令和8年度 安全対策委員会 活動計画

#### 【年間目標】

1. 事故・搬送・転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える
2. 助産師業務安全管理評価を実施できる

#### 【定例会開催予定】

毎月1回 ZOOM 会議を開催

#### 活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 事故・搬送・転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える	1) 年1回の研修会企画・開催 (1) インシデント・アクシデントの意義を周知 (2) インシデント・アクシデント報告の運用方法 (3) インシデント・アクシデント報告の共有・フィードバック
2. 助産師業務安全管理評価を実施できる	1) 日本助産師会の助産師業務安全管理評価表に準じ調査する 2) 助産所部会長と協働し、「助産所安全管理評価」を実施 (1) 嘱託医、協力医療機関との契約更新・保険加入の確認 (2) 改善点・気づきを共有する

#### 4) 令和8年度 災害対策委員会 活動計画

##### 【年間目標】

1. 委員会や共通ツールにて全地区の情報共有を図る。
2. 災害時の初動に有効なシミュレーションを検討し、準備実施をする。
3. 関連団体との連携を図り、協力体制を構築できるように努める。
4. 地域の災害対策事業に参加する。

##### 【定例会開催予定】4回

##### 活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 委員会や共通ツールにて全地区の情報共有を図る。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 委員会及び必要に応じ臨時会議を開催する。</li> <li>2) 各地区との情報の収集や共有、また問題発生時には解決に努める。</li> </ol>
2. 災害時の初動に有効なシミュレーションを検討し、準備実施をする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) シミュレーション訓練への参加を促す。</li> <li>2) 災害時マニュアル第3版改訂を実施、会員へ発送する。</li> <li>3) 災害時支援協力員・協力助産院の確保に努める。</li> <li>4) 会員全員周知を目指し各地区にて災害時連絡網を整備する。</li> <li>5) 初動が円滑にできるよう、災害対策本部の役割の細部まで検討し、アクションリストを見直す</li> </ol>
3. 関連団体との連携を図り、協力体制を構築できるように努める。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本助産師会主催及び他機関主催の災害対策研修へ参加する。</li> <li>2) 研修会等で近隣助産師会の災害時支援の連携について検討し合い、顔の見える関係を築くことができるように努める。</li> <li>3) 九都県市合同防災訓練に参加する。</li> </ol>
4. 地域の災害対策事業に参加する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 市町村との災害時支援協力を図る。(災害時支援協定)</li> <li>2) 災害時支援協定締結後の市町村との細部の活動を確認する。</li> <li>3) 地域の防災訓練に参加し、助産師活動をアピールする。</li> <li>4) 千葉県リエゾンへ積極的に参加し、リエゾンの一員としての役割を果たすことができるように努める。</li> </ol>

## 5) 令和8年度 広報委員会 活動計画

### 【年間目標】

1. 広報誌「大潮」を発行し、千葉県助産師会の活動を会員および他機関に広く周知する
2. 業務変更があったらマニュアルに追加・変更をする
3. リーフレット作成のため内容検討して令和9年の完成を目指す

### 【定例会開催予定】

大潮発行に合わせて適宜開催する（7月、12月、3月発行予定）  
 その他必要時、Google ドライブ・ラインでの会議を行う

### 活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 「大潮」を発行する	1) 年3回、計画的に発行する。 2) 原稿依頼・編集・発送に関して、役割分担・手順をマニュアルに沿い、効率よく大潮の作成、発行する。 3) 紙面での発送からメーリングリストによるPDF送付が可能であるか検討する。（経費削減・発送作業の負担軽減ができる）
2. 大潮を通して、会員へ助産師会の活動を広報する	1) 千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを掲載し、会員に配布する。 2) 会員へホームページとメーリングリストの活用について広報する
3. 大潮を通して関係諸機関へ千葉県助産師会の活動を広報する	1) 千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを掲載し、日本助産師会および関係諸機関に送付する。 2) 千葉県助産師会のホームページに大潮を掲載する。 3) 各地区のイベントなどで、リーフレットや大潮を配布し、千葉県助産師会の活動を広報する。
4. 活動の写真を、整理・保存する	1) 使用した写真はデータとして、整理し、保存する。
5. 広告掲載募集	1) 企業の広告掲載依頼がないため、募集方法を検討する。 2) 依頼があった場合、原稿の編集、大潮の郵送、県会計への連絡など取りまとめをする
6. リーフレット作成の準備をする	1) リーフレットの内容・構成決め。 2) 理事会にて内容検討・確認。 ※広報委員が2名満期終了のため業務負担を考慮し準備する。
7. 新委員へのスムーズなオリエンテーション	1) マニュアル使用して5月中に委員長がオリエンテーションする。 2) 編集・執筆者依頼・発送作業、広報委員役割や流れが理解できる。

## 6) 令和8年度 将来構想検討委員会 活動計画

### 【年間目標】

1. 社会の変化やニーズを把握し、助産師会活動に反映する。
2. 会員増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。
3. 事務所の管理・運営の安定化を図る。
4. 助産所の存続と発展に向けた活動を行う。
5. 地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。
6. 専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。

### 【定例会開催予定】

運営会議および理事会後に開催する。

### 活動目標

1. 社会のニーズを把握し、助産師会活動に反映する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国・県・市町村から発信された情報を収集する。</li> <li>2) 関連機関との連携を促進し、情報収集に努める。</li> <li>3) 情報を運営会議や理事会で共有し、事業展開について検討する。</li> <li>4) 必要に応じて助産師会独自、県及び市町村による事業展開に向けた準備に着手する。</li> <li>5) 「国際助産師の日」等の事業開催の運営方法を見直す。</li> </ol>
2. 会員の増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 会員の増加に努める。(目標：390名)</li> <li>2) 会員の活動調査内容を把握し、必要な情報を発信する。</li> <li>3) 会員の育成に必要な研修会を提案する。</li> </ol>
3. 事務所の管理・運営の安定化を図る。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事務所の活用を図るため、管理・運営方法を見直す。</li> <li>2) 事務員の雇用の維持・安定化を図る。</li> <li>3) 事務所移転を考慮する。</li> </ol>
4. 助産所の存続と発展に向けた活動を行う。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 正常分娩の保険適用化について、国の動向を注視する。</li> <li>2) 助産所(有床・無床)の減少を最小限にし、継続・発展するために後継者の育成を図り企画を協議する。</li> <li>3) 助産所分娩施設の安全を守り、継続的に経営が成り立つために連携医療機関・嘱託医の確保に努める。</li> <li>4) 各専門部会(助産所部会・勤務助産師部会・保健指導部会)の会員の意見を収集し、専門職としての意見を県市町村に反映する。</li> <li>5) 活発に運営している県外を含めた助産所(助産、保健指導、訪問看護)施設見学、講話等を通して学ぶ。</li> </ol>
5. 地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 各地区部会の母子保健活動に関する情報を収集し整理する。</li> <li>2) 全ての会員が該当地区部会に所属し、地区部会活動に参加する機会を得られるよう促す。</li> </ol>
6. 専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 3部会集会を開催し、部会間の連携を図る。</li> <li>2) 3部会に共通したテーマについて検討する機会をもつ。</li> <li>3) 病医院、助産所、地域で働く助産師が連携する方法を他の組織団体とも協力を得ながら探る。</li> </ol>

## 7) 令和8年度 細則検討委員会 活動計画

### 【年間目標】

1. 定款および細則の見直しを適宜行う。
2. 規程および活動マニュアルを整理する。

### 【定例会開催予定】

理事会後に開催する。(年4回程度)

### 活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 定款および細則の見直しを適宜行う。	1) 定款を見直し、必要があれば総会において改正する。 2) 定款に合わせて細則の見直しを行う。
2. 規程および活動マニュアルを整理する。	1) 各部会および各委員会の規程を整理する。 2) 定款や細則に基づいて作成された規程を整理する。 3) 部会・委員会および各担当部署の活動マニュアルを整理する。

## 8) 今年8年度 生と性の健康教育委員会 活動計画

### 【年間目標】

1. 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める
2. 「生と性の健康教育」の方略を検討する

### 【定例会開催予定】

Zoom 会議を適宜開催する

### 活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める	1) 研修会・交流会を開催する (1) 交流会を開催する 7月5日(日) 千葉生涯学習センター テーマ いのちと性に関するお気に入りの一冊を持ち寄って ～講師をやっているひともこれからの人も、みんな集まれ！！ PART2～
2. 「生と性の健康教育」の方略を検討する	1) 様々な課題を抱える中で、今後も健康教育を実施・継続していき るよう図る 2) HP、グループLINEを運営 ニュースレターの活用をすすめる
3. 助産師会と他職種 の連携を図る	1) ちば思春期研究会に参画し、活動する。

## 9) 令和7年度 100周年記念事業委員会 進捗状況と今後の予定

### 1) 実行委員会について

- ・実行委員 1地区:加藤 睦、2地区:東 亜紀、高橋絵里子 3地区:田村 陽子、4地区:生駒 千景、5地区:古賀 千恵子、6地区:井上 由子、7地区:菅谷 厚子、9地区:加藤 ほのみ

### 2) 100周年記念事業概要

- ・目的
  - ・千葉県助産師会の100年の歴史や変遷を振り返る
  - ・会員ならびに関連機関へ感謝を伝える
  - ・今後のビジョンを共有し、千葉県助産師会のさらなる発展を目指すきっかけとする
  - ・会員同士の親睦を深め、信頼関係の構築を図る
- ・予算：300万円（災害支援基金口座使用）
- ・事業内容：記念行事開催、記念誌発行
- ・100周年記念事業テーマ「つぎの100年も助産師とともに」

### 3) 記念行事について

- ・行事日程：2026年9月26日（土）会場：ホテルポートプラザちば（千葉みなと駅前）
- ・講演会について：講演者 大出春江氏 テーマ(仮)「助産師の過去・現在・そして未来像」
- ・式典について：60分 内容検討中。祝辞依頼候補は選定済み
- ・祝賀会について：予定時間：150分、参加予定者：千葉県助産師会会員、来賓者数名  
食事：卓盛り形式

### 4) 記念誌について

- ・タイトル：千葉県助産師会 創立100周年記念誌
- ・制作委託：ホームスチール さくまいずみ
- ・発行予定日：2026年8月末
- ・仕様：B5サイズ 縦型 約200ページ 表紙：ハードカバー、ケース付き
- ・内容：巻頭カラー、巻頭言、100年の歴史、特集記事（産後ケア・コロナ禍の助産活動）  
千葉県助産師会事業紹介、各部会・地区・委員会・個人活動紹介  
組織概要 役員・組織図・会員数動向・定款など、他資料

### 5) 今後の予定

- ・実行委員会 全体会議：1～2ヶ月毎に開催 チーム会議：毎月開催予定

記念行事	記念誌
2月 行事案内リーフレット完成	2月末 記念誌 活動報告原稿締切
3月 初回申込み開始	3月中旬 大潮にて案内、購入申込開始
4月 式典祝辞依頼、行事内容決定	4月～ 辞寄稿依頼
5月 初回参加費振り込み〆切	7月末 原稿校閲等
7月 大潮 最終申込み案内送付	8月末 記念誌完成
8月 参加人数確定、追加振り込み〆切	9月26日 記念行事当日、記念誌配布
9月26日 記念行事当日	